

平成19年度から指定管理者制度を導入する公の施設の指定管理者候補者選定結果

北杜市指定管理者候補者選定委員会において選定及び評価を行いました。

【公募した施設】

	施設名	申請者数	指定管理者候補者	選定理由
1	北の杜聖苑	3	北の杜聖苑運営組合	市内自営業者等で組織されており、きめ細やかな管理と、施設清掃、電気系統保守、燃料調達など構成員ができるものは自ら行うことで経費節減を目指している。これにより、地域の活性化にもつながると期待される。 また、施設の生命線ともいえる火葬炉の保守については、製造メーカーに委託することとしており安心できる。 経費節減策にも無理はなく、現在の市の歳出額より大きく軽減されていることも評価できる。
2	北部ふるさと公園	2	株式会社メイキョー	各地の下水道関連施設での経験の中で培った技術対応力に優れ、指定管理者という立場をよく理解し、施設運営ばかりでなく施設そのものの管理を行うため、経理部門を切り離すなど経費節減の方策がよく練られている。 また、地域住民への広報活動や見学会、河川清掃など地域利用者との接点を求め、環境保全への取組みの理解を得ながら、より効果的・効率的な運営を目指しているところも評価される。
3	白州町交流促進施設 (道の駅はくしゅう)	3	道の駅はくしゅう管理運営組合	従来から当施設の農産物販売業務を受託してきた団体に加え、地元生産者組織が構成員となっているため、農産物の生産から販売へと一貫した運営体系が樹立され地域活性化に直結すると評価する。 また、生産者組織による計画的生産や近隣の類似施設との連携により、年間の販売品の確保が可能であること、オリジナル商品などブランド創りに期待が持てる。
4	大武川河川公園	1	特定非営利活動法人 甲斐道楽	インターネットを活用したホームページの構築と広報宣伝活動の強化により、顧客の掘り起こしが期待される。 公園管理には地域力を活かし、個人に契約することで柔軟に作業を行わせ、経費を抑える計画としている。

【公募によらない施設】

	施設名	指定管理者候補者	非公募の理由	選定委員会の評価
1	明野ゆうゆうふれあい館	浅尾新田自治会	この施設は、介護予防拠点施設として整備したものであるが、敷地内に併設する芝生公園やゲートボール場と一体的に地域で管理することにより、高齢者を中心とした憩いの場として、一層の有効活用が図られると期待されるため地元である浅尾新田区を指定管理者候補者として非公募とした。	介護予防拠点施設として整備し、地域の憩いの場としても利用されてきたが、補助金の廃止により職員が置けなくなったため、利用者への敏速な対応ができなくなっていた。芝生公園、ゲートボール場などとともに地域で管理することで手続の簡素化が図られ、高齢者のコミュニティの場として施設の利用率と利便性の向上が図られることから浅尾新田自治会が管理することが適当と評価する。
2	ながさかりハビリセンター	特定非営利活動法人 峡北地域生活支援システム杜の風	この施設は、障害者の支援施設として既存の子ども相談センターに併設整備をしたものである。子ども相談センターは、障害児のデイサービス施設として、「特定非営利活動法人峡北地域生活支援システム杜の風」が運営を行っている。 この法人の活動範囲でハビリセンターの有効活用が図られると期待されるため、この法人を指定管理者候補者として非公募とした。	現在の活動事業で培ったノウハウを基に、パソコン教室や本人活動支援などの事業を行い、隣接する子ども相談センターと併せ一貫して障害児者の社会参加と自立を支援する拠点となると期待できる。 また、一般住民も利用できるボランティア育成講座等の収入が見込まれ経費の削減と、施設の有効活用が期待できることから、杜の風が管理することが適当と評価する。